

次期学習指導要領における

「主体的に学習に取り組む態度」の 評価の改善の背景と方向性

2025年7月4日に開催された、中央教育審議会（以下、中教審）の教育課程企画特別部会第10回で、観点別学習状況の評価（以下、観点別評価）の観点の1つである「主体的に学習に取り組む態度」を、次期学習指導要領では個人内評価とするという改善案が文部科学省から示された。その背景と具体的な内容、現行の学習指導要領の下で行われる教育活動への影響などについて、文部科学省初等中等教育局の田村学主任視学官に、VIEWnext編集部統括責任者の柏木崇が聞いた対談記事（『VIEWnext ONLINE』に掲載）をダイジェストで紹介する。

「主体的に学習に取り組む態度」 の評価に関する改善案

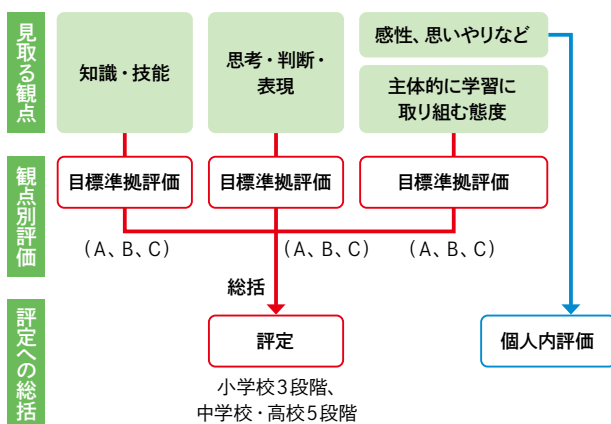
中教審の教育課程企画特別部会で、「主体的に学習に取り組む態度」を含む観点別評価に関する次のような改善案が示された。

「主体的に学習に取り組む態度」を 個人内評価とする。

「主体的に学習に取り組む態度」を含む「学びに向かう力・人間性等」については、「目標標準評価」から、教育課程全体を通じて個人のよい点や可能性、進捗の状況等に着目して評価する「個人内評価」へと変更する。

現行の学習指導要領では、「主体的に学習に取り組む態度」を含む「学びに向かう力・人間性等」については、「目標標準評価」から、教育課程全体を通じて個人のよい点や可能性、進捗の状況等に着目して評価する「個人内評価」へと変更する。

これまでの観点別評価のイメージ



※中央教育審議会教育課程企画特別部会 論点資料を基に編集部で作成。

対談記事より抜粋・再構成



柏木崇・VIEWnext編集部統括責任者
「主体的に学習に取り組む態度」を含む「学びに向かう力・人間性等」が個人内評価となることで、「学びに向かう力・人間性等」の育成や評価に対する意識が低下するのではないかとこの危惧もあります。

田村学・文部科学省初等中等教育局主任視学官
「学びに向かう力・人間性等」が社会で一層求められていることや、大学入試において総合型選抜・学校推薦型選抜が拡大し、「学びに向かう力・人間性等」も重要な評価対象となっていることは周知の通りです。生徒のやる気や協調性、自制心などを教師が肯定的に評価することが、その生徒の全人的な成長につながるという経験は、多くの先生が有しているものと思います。そのため、「学びに向かう力・人間性等」の育成や評価が軽視されるようなことはない、私は考えています。



組む態度」を「粘り強さ」と「学習の自己調整」の2つの側面から評価しているが、「主体的に学習に取り組む態度」が個人内評価になると、「感性・思いやりなど」と「主体的に学習に取り組む態度」を分ける必要がなくなるため、評価観点を「主体的に学習に取り組む態度」から「学びに向かう力・人間性」へと変更することが併せて検討されている。

「学びに向かう力・人間性等」が特に表出された場合は、「思考・判断・表現」の観点別評価に「○」を付記する。

「学びに向かう力・人間性等」と「思考・判断・表現」は親和性が強く、思考・判断・表現の過程で「学びに向かう力・人間性等」の一部が見て取れることが考えられる。

そのため、各教科における思考・判断・表現の過程で、学びの主体的な調整や他者との対話・協働などによって「学びに向かう力・人間性等」が特に表出した場合には、「思考・判断・表現」の観点別評価に「○」を付記することも検討されている。

対談記事の全文はこちら

本記事は25年9月4日に、『VIEW next ONLINE』に掲載した学校教育関係者向けの記事を、高校教師向けに再編集したダイジェスト版です。同記事の全文には

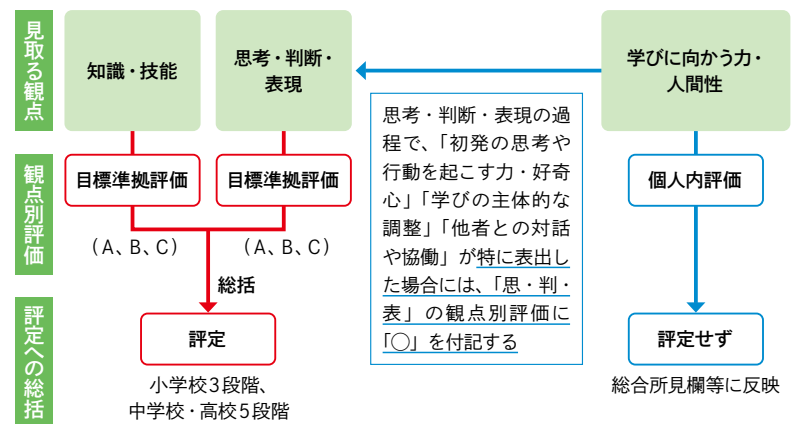
<https://view-next.benesse.jp/view/web/article33384/>

または下記の2次元コードから

アクセスしてください。



次期学習指導要領における新たな観点別評価のイメージ



※中央教育審議会教育課程企画特別部会 論点資料を基に編集部で作成。



田村

これまで「主体的に学習に取り組む態度」の目標準拠評価に取り組んできた先生方は、その実践を通して、「主体的に学習に取り組む態度」が育まれた生徒の姿を見取り、言語化する力を高めるとともに、「主体的に学習に取り組む態度」の育成・評価方法を磨き上げてきました。そうした経験は、「主体的に学習に取り組む態度」を含む「学びに向かう力・人間性等」が個人内評価になっても、大いに生きるものと思っています。すなわち、現行の学習指導要領の下での実践は、次期学習指導要領にもしっかりとつながっていくものであると考えていただきたいと思います。



柏木

現行の学習指導要領の下では、現場の先生方は学習指導要領の次期改訂に向けた議論をどのように捉え、学習評価の実践を積み重ねていけばよいとお考えですか。



田村

「思考・判断・表現」の評価の過程で、「学びに向かう力・人間性等」を構成する要素が特に表出された場合に、「思考・判断・表現」の観点別評価に「○」を付記することが検討されています。つまり、「思考・判断・表現」の評価の過程で「学びに向かう力・人間性等」を見取るため、パフォーマンス評価などの重要性は今後も変わらないでしょう。



柏木

「主体的に学習に取り組む態度」の評価を見直すことにより、ペーパーテスト偏重の評価へと戻ってしまう懸念はないでしょうか。